



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月9日

上場会社名 株式会社 鶴見製作所
 コード番号 6351 URL <http://www.tsurumipump.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 辻本 治
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部長 (氏名) 廣田 正章
 四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東大

TEL 06-6911-2351

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	19,756	10.1	1,049	93.9	896	24.8	512	20.6
22年3月期第3四半期	17,951	△15.1	541	△55.2	718	△39.8	425	△33.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	20.45	—
22年3月期第3四半期	16.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	43,048	34,498	80.1	1,376.01
22年3月期	43,578	34,700	79.6	1,383.84

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 34,475百万円 22年3月期 34,676百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
23年3月期	—	8.00	—		
23年3月期 (予想)				8.00	16.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,900	2.7	2,100	6.3	2,200	△3.3	1,300	△3.4	51.89

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、添付資料2ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）
(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)
① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 27,829,486株 22年3月期 27,829,486株
② 期末自己株式数 23年3月期3Q 2,774,671株 22年3月期 2,771,370株
③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 25,056,703株 22年3月期3Q 25,344,312株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	2
(1) 重要な子会社の異動の概要	2
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	2
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、前半においては海外景気の改善や政府による経済政策の効果等により景気は緩やかながらも回復テンポで推移しましたが、後半に至っては、輸出が緩やかに減少し、自動車などの生産活動が減産になるなど、景気は一時足踏み状態になりました。

世界経済においては、失業率が高水準で推移するなど深刻な状況にはあるものの、各国の経済政策効果もあり、景気は引き続き回復基調で推移しました。

このような状況の中で当社グループにおきましては、海外部門においては回復基調で推移し、国内部門においても設備機器市場では公共工事及び民間設備投資が減少したものの、建設機械市場での買換需要が増加したことから前年を上回る売上となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は19,756百万円と前年同四半期連結累計期間と比べ1,804百万円(10.1%)の増収、営業利益は1,049百万円と前年同四半期連結累計期間と比べ508百万円(93.9%)の増益、経常利益は896百万円と前年同四半期連結累計期間と比べ177百万円(24.8%)の増益、四半期純利益は512百万円と前年同四半期連結累計期間と比べ87百万円(20.6%)の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は43,048百万円と前連結会計年度末に比べ529百万円減少しました。

これは、主に受取手形及び売掛金の減少によるものであります。

純資産につきましては、当第3四半期末現在34,498百万円と前連結会計年度末に比べ201百万円減少しました。

これは、主に為替換算調整勘定の減少によるものであります。

これらの結果、自己資本比率は80.1%と前連結会計年度末に比べ0.5%改善いたしました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては平成22年5月20日に発表しました数値に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が第2四半期連結会計期間末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

② たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

③ 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号 平成20年3月10日)を適用しております。

この変更に伴う損益に与える影響はありません。

② 資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

この変更に伴う損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,610	3,330
受取手形及び売掛金	10,466	12,045
有価証券	25	24
商品	439	406
補修部品	286	273
製品	1,757	1,747
半製品	947	969
仕掛品	683	1,053
原材料及び貯蔵品	1,267	1,144
その他	1,016	827
貸倒引当金	△53	△61
流動資産合計	21,448	21,762
固定資産		
有形固定資産		
土地	6,616	6,631
その他(純額)	4,046	4,195
有形固定資産合計	10,662	10,826
無形固定資産		
	483	566
投資その他の資産		
投資有価証券	8,943	8,921
その他	1,551	1,574
貸倒引当金	△42	△72
投資その他の資産合計	10,453	10,422
固定資産合計	21,600	21,816
資産合計	43,048	43,578

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,520	3,723
1年内償還予定の社債	1,000	1,000
未払法人税等	18	595
賞与引当金	287	569
その他	1,617	1,302
流動負債合計	6,443	7,190
固定負債		
社債	1,000	1,000
長期借入金	500	—
退職給付引当金	262	266
役員退職慰労引当金	147	171
その他	196	248
固定負債合計	2,106	1,687
負債合計	8,549	8,878
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,188	5,188
資本剰余金	7,896	7,896
利益剰余金	24,895	24,783
自己株式	△2,387	△2,385
株主資本合計	35,593	35,483
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△386	△323
繰延ヘッジ損益	6	6
為替換算調整勘定	△737	△489
評価・換算差額等合計	△1,117	△806
少数株主持分	23	23
純資産合計	34,498	34,700
負債純資産合計	43,048	43,578

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	17,951	19,756
売上原価	12,552	13,778
売上総利益	5,399	5,977
販売費及び一般管理費	4,858	4,928
営業利益	541	1,049
営業外収益		
受取利息	191	127
受取配当金	53	49
持分法による投資利益	—	58
その他	145	46
営業外収益合計	390	281
営業外費用		
支払利息	38	27
為替差損	100	283
その他	74	123
営業外費用合計	213	433
経常利益	718	896
税金等調整前四半期純利益	718	896
法人税、住民税及び事業税	198	167
法人税等調整額	95	216
法人税等合計	293	383
少数株主損益調整前四半期純利益	—	512
少数株主利益	0	0
四半期純利益	425	512

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。